



103万円の壁が動く (その1)

(文章：石島慎二郎)

103万円の壁とは

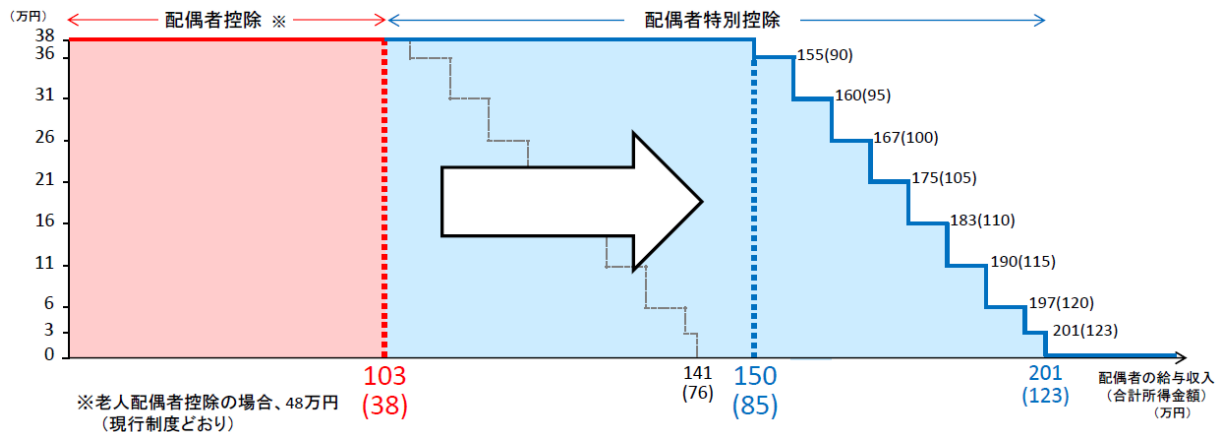
配偶者の収入が給与のみであるとして、給与が103万円以下の場合、所得から38万円を差し引くことができます(配偶者控除)。所得税は所得が高いほど税率が高くなりますが、最高税率の人が配偶者控除を受けると税金が20万円ほど軽減されるため、大きなメリットです。給与を103万円に抑えようとする心理が働き、これが「103万円の壁」となります。

実際には、配偶者特別控除というものもあり、配偶者の収入が103万円を超えても、141万円未満であれば3万~38万円の控除が受けられますが、満額控除が受けられる103万円という金額が強く意識されています。

平成30年以降は150万円の壁

今は人材不足のご時世、「103万円の範囲内で・・・」と働くのを抑えられてしまっは困ってしまいます。そこで、平成30年からは配偶者の38万円控除満額を受けられるのが給与収入150万円以下の場合に緩和されることになりました。枠を広げることで、もっと働いてもらおうというのです。

配偶者特別控除が拡大され、配偶者の収入が150万円以上でも、201万円未満であれば3万~38万円の控除が受けられます。



(裏面)

150万円の壁のウラ

今までは、配偶者の収入のみが控除を受けられるかどうかのカギでした。しかし、150万円の壁となる平成30年以降は、控除しようとする本人の給与収入（正確には合計所得）にも制限がされることになりました。配偶者の給与収入が150万円以下でも、本人の収入によって次のように変わってきます。

- | | | | |
|---|-------|----------------|---------------------------|
| ① | 給与収入が | ～1,120万円まで | …満額38万円の控除が受けられる |
| ② | 〃 | 1,120万～1,170万円 | …最大26万円の控除（①の2/3） |
| ③ | 〃 | 1,170万～1,220万円 | …最大13万円の控除（①の1/3） |
| ④ | 〃 | 1,220万円超の人 | …配偶者控除は 受けられない（ゼロ） |

今回の改正で、所得の高い人が除外されたことは見逃され気味です。

103万円の壁が150万円に動いたことで、1,500億円もの税収減となりますが、その代わり高所得者を対象から外すことで、1,500億円の税収増となり、国としては結局プラスマイナスゼロだそうです。世間では減税ムードですが、そんなウラがあったのです。



石島会計の職員紹介



新妻 舞 (にいづま まい)

◆出身地

東京都清瀬市生まれ。

中学生まで清瀬市や東久留米市に住んでいましたが、中学3年から西東京市に住んでいます。

◆人柄

根は真面目と言われます。

◆職歴

大学卒業後は銀行に勤務、その後法律事務所に勤めて参りましたが、会計経理の仕事をしたく会計事務所にお世話になることになりました。

◆趣味・・・ 観劇や映画鑑賞

休みの日にたまに観劇や映画鑑賞に行きます。観劇の場合は何ヶ月も前からチケットを取らなくてはいけない場合も多く、人気の公演だとチケットが取れない場合もあるので、たまにしか行けません。でも、観劇すると別世界へ連れて行ってくれるので日頃の気分転換に楽しみにしています。

頑張っている会社のご紹介！



サングラスの事なら eau de vie へ！



(文章：芦原 衛)

今回は、頑張っている会社、**eau de vie 様**「以下（オードビー）」を芦原よりご紹介します。

★オードビーって何屋さん？

オードビーは、眼鏡屋さんです。ただ、普通の眼鏡屋さんではなく、**度付きサングラス・スポーツサングラス**などを中心に販売している眼鏡屋さんです。お店は、台東区上野にあります。

「eau de vie（オードビー）」という言葉はフランス語で、直訳すると「命の水」という意味だそうです。人生になくてはならないものという思いを込めて、店名をそう命名したそうです。



(店の外観)



(店内の様子)

実は、このお店、日本全国からお客さんがサングラスを買いにやって来るのです。それもそのはず、日本中でここにしかない商品がたくさんあり、ロードバイク、オートレース、スキー、登山、ダイビング、パリダカ（パリダカール・ラリー）などのプロアスリートのサポート店なのです。店内には、ディスプレイにロードバイクなんか置いてあって、いかにもスポーツサングラス屋さんぽい感じで、とても格好いいですね。

★サングラスしてますか？！



目に紫外線を浴び続けると、目の充血や視力の低下、さらに白内障なんかも発症する可能性があるみたいですよ。特に、長時間紫外線を浴びるスポーツをする場合は、必ずサングラスを着用した方がいいみたいです。

その時は、オードビーにご相談を！

★社長さんってどんな人？

オードビーの社長は、佐藤吉男社長です。社長は、開業前は卸やレンズ加工などをやっており、開業後は小売りと、眼鏡業界のほぼ全てを経験しているため、それぞれの立場がよくわかると思います。

社長が語ってくれました。「眼鏡業界は、市場で顧客の奪い合いを行っている。他のお店より価格を下げたり、過剰サービスをしたりと。開業前は、それが普通の事だと思っていたけど、ある時、このまま過剰な価格競争が続くと、業界全体がデフレ化してしまうと思った。そこで、今の市場を奪い合うのではなく、自分で新しい市場を作ろうと考えた。常に新しい商品を開発して、新しい市場を作っていければ、価格競争に巻き込まれることなく生き残っていけると思い、度付きスポーツサングラスの開発を始めた。

すると、HP や雑誌でそれを知った各界のアスリート達が、お店を訪ねてくれるようになり、それがきっかけでプロアスリートのサポートをすることになった。今でも、アスリート達の要望に応えるために、日々、試行錯誤しながら新しいサングラスの開発を続けていますよ！」

佐藤社長、ありがとうございました。社長は、現在も新しい商品を求めて、年に数回海外に出向いて買い付けをしています。そういう日々の努力が、この厳しい眼鏡業界の中でも活躍し続けられる理由だと思います。

以上、芦原より、頑張っている会社のご紹介でした。



(佐藤吉男社長)

有限会社 オードビー

代表取締役 佐藤吉男

〒110-0005 東京都台東区上野 5-13-11 第二オリエントビル 1F

TEL 03-5816-5090 HP <http://www.eaudevie.co.jp/>

(佐藤社長に面会希望等有る方は、石島会計宛にご連絡下さい。)